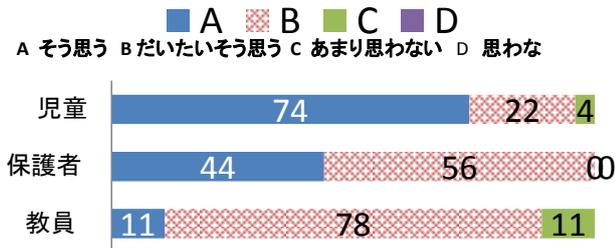


# 令和元年度学校評価調査集計結果と考察（7月）

鹿嶋市立中野西小学校

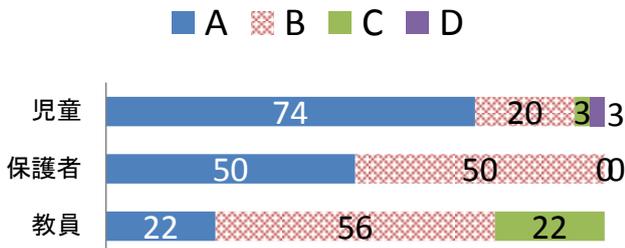
## Q1 わかりやすい授業を行う (学力向上)



### 【考察】

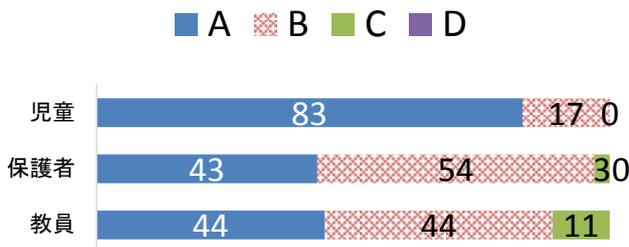
- ・児童A+B=96%を達成している。今後もAT・ALT・特別支援担当教員等複数体制で指導にあたり、学習到達度に応じた支援やつまづいている児童への個別指導を充実させることで学力向上を目指す。
- ・保護者A+B=100%を達成している。今後、さらに分かりやすい授業の実践や職員の研修等を実践していく。
- ・職員A+B=89%だが、Cが11%である。今後、Cの数値を上げるため、教材研究や学習準備の時間を十分に確保し、学力向上に資する校内研修を実施するとともに、鹿嶋市小学校外国語指導力向上プロジェクトの取組を積極的に推進する。

## Q2 興味や意欲を高める授業を工夫している(学力向上)



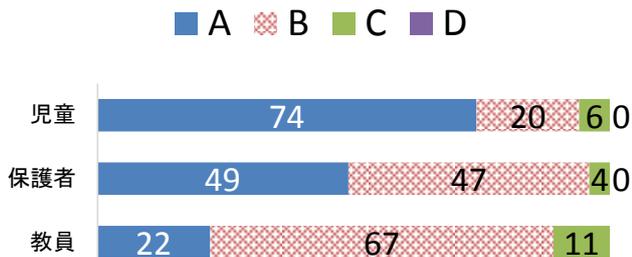
- ・児童A+B=94%を達成している。今後も児童の実態や地域の特性を踏まえた教材教具の準備を進めたり、生活との関連を図るなどしたりして意欲の向上を図りたい。
- ・保護者A+B=100%を達成している。今後は、学習における興味・関心を高めるため教材研究を充実させるのと同時に、取組を積極的に紹介していくことで更なる向上を図りたい。
- ・職員A+B=78%と、他項目と比べると低く、Cが22%である。このことから、今後、興味や意欲を高める授業の工夫に資する校内研修、地域人材の活用等を実施する。

## Q3 一人一人に応じた学習の手助けをしている(学力向上)



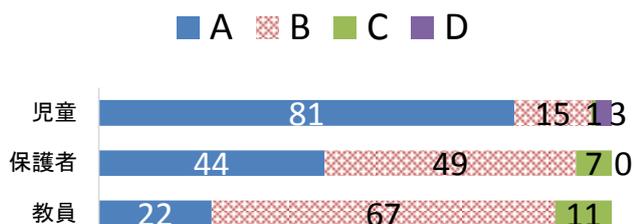
- ・児童A+B=100%を達成している。今後も更なる向上をめざして、AT・ALT、特別支援教育の充実等、全校体制で個への学習支援にあたるようにしていくことで充実を図りたい。
- ・保護者A+B=97%を達成している。今後も児童の個別支援を充実させると同時に学校としての取組を明確にして積極的に情報を発信したり、保護者との相談活動を充実させたりしていくことで信頼を得ていきたい。また、学習状況に合わせて学習相談を実施していく。
- ・職員A+B=88%を達成している。今後は思考・判断力を伸ばす課題等を取り入れたり、複数体制で支援にあたるようにしたりしていくことで、より一層個への支援の充実を図りたい。

## Q4 一人一人を理解し大切にしている指導をしている(児童理解)



- ・児童A+B=94%を達成している。更なる向上のために、学校行事や特別活動、各教科の学習などで一人一人のよさを認め活躍できる場を意図的に設けていくことで向上を図りたい。
- ・保護者A+B=96%を達成している。今後、ホームページの更新を増やし、個のよさを認めた情報を積極的に保護者へ発信していくことで更なる向上を図りたい。
- ・職員A+B=89%であり、Cが11%である。より一層一人一人のよさを多面的に見て認め励まし伸ばすことができるよう努める。また、QUTテストの活用と年3回の「いじめ生活アンケート」の実施、教育相談活動の充実を図ることで児童理解に努めたい。

### Q5 いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めている (児童理解)

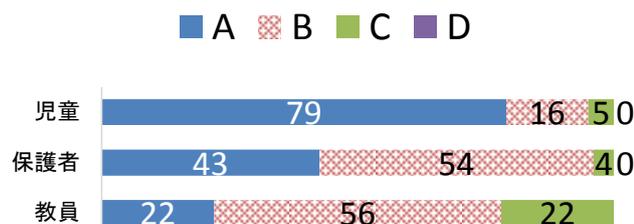


・児童A+B=96%であり、C+Dが4%である。「いじめ生活アンケート」や「QUテスト」の実践と結果をもとにした指導の充実を図る。また、いじめの相談にのり担任が十分に寄り添うことや、休み時間等でもできる限り一緒に活動する。さらに、全校道徳や人権集会では、内容をいじめをテーマに実践するなどして、全校を上げていじめに取り組む学校づくりを推進していく。

・保護者A+B=93%であり、Cが7%である。全校道徳等の取組や、認知したいじめの対応及び解消まで(3ヶ月を目安)こまめな情報提供、認知したいじめ解消(3ヶ月を目安)いじめ防止の取組に係る情報発信等により、学校の取組や姿勢の理解の向上を図りたい。

・職員A+B=89%を達成している。児童や保護者との認識に差があることから、いじめ生活アンケートの有効活用、認知したいじめの迅速な対応などを通して「いじめは絶対に許さない」「いじめられている子を守る」という姿勢を示しながら取り組む。

### Q6 生命を大切にする心、社会のルールを守る態度、郷土を理解する心を育む(豊かな心)

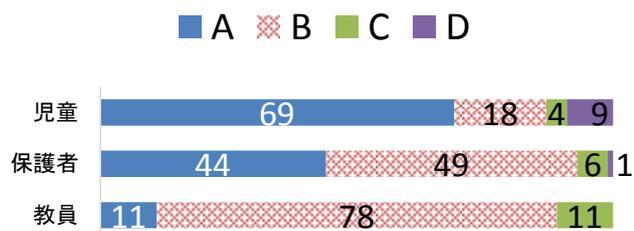


・児童A+B=95%を達成した。今後も道徳や生活科・社会科・理科等を中心にねらいを明確にすることでより一層の充実を図る。

・保護者A+B=97%を達成している。今後も「社会のルール・郷土理解」面では特に保護者や地域の方々との連携(地域連携本部会議・学校支援ボランティア等)を図りながら一層の向上を図りたい。

・職員A+B=78%、Cが22%である。このことから、人権教育や道徳教育の充実と各教科との関連を明確にして取り組む。また、全校道徳の取組をファシリテーションを通じたブラッシュアップする校内研修を充実させる。さらに、体験を通じた地域学習を推進し郷土理解に努める。

### Q7 面談や教育相談が充実し、相談しやすい(児童理解)

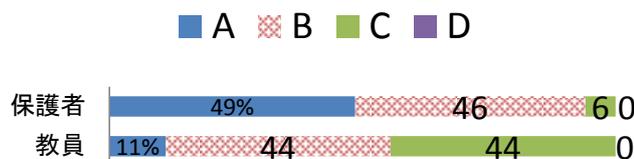


・児童A+B=87%であるが、C+Dが13%である。このことから、今後、教育相談やカウンセリング等について情報発信するとともに、いつでも相談できるように伝えていく。また、年3回の教育相談週間や学級担任と児童との普段からのコミュニケーションを大切に信頼関係を構築していく。また、スクールカウンセラー等との相談の充実を図る。

・保護者A+B=93%を達成している。今後もスクールカウンセラーとの教育相談の有効活用やいつでも相談できることをより等で知らせ充実を図る。また、実施したカウンセリングを保護者に伝えていく。さらに、気がかりな児童の保護者へは連絡を密にしていく。また、状況に応じて校外の専門相談機関等を紹介するなど連携を図る。

・職員A+B=89%を達成している。児童や保護者との意識の開きがあるため、今後も児童・保護者との普段からのコミュニケーションを通して相談しやすい関係づくりに努める。また相談内容に応じて学校組織で迅速な対応ができるよう共通理解を図る。

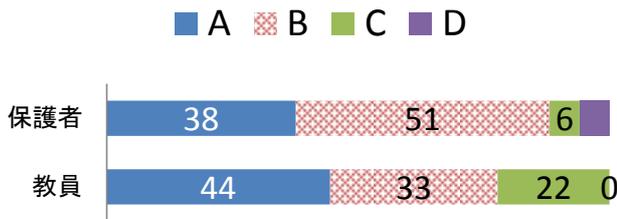
### Q8 保護者や地域の願いに応えようとしている(地域連携)



・保護者A+B=95%を達成している。今後も地域連携本部会議や学級懇談、各種アンケートをもとに保護者や地域の方々の願いを聴取し、改善のための具体策を内外共に明確に示したうえで実践化を図るなどして地域と一体となった学校づくりに努める。

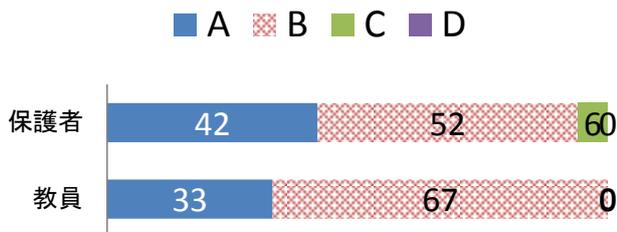
・職員A+B=55%に留まっている。今後、110番の家の訪問や中西フェス等、地域と連携した活動等で積極的にコミュニケーションを図ることで、相互理解に基づく教育活動を推進する。

**Q9 家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている(地域連携)**



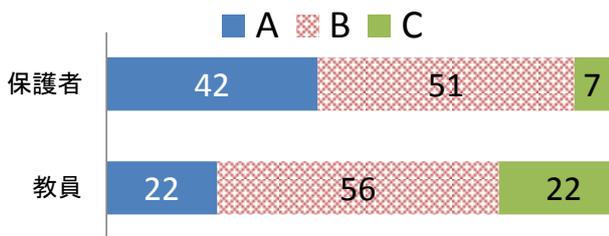
・保護者A+B=89%を達成している。今後も各種たより、ホームページの充実に努める。また、児童個々の状況について各担任等から積極的に情報を発信し、保護者や地域の方々とコミュニケーションの充実に努める。更に緊急メールや不審者情報についても迅速に対応できるように校内体制を整備し信頼される学校づくりを推進する。  
 ・職員A+B=77%である。今後は、保護者面談、保護者への電話や連絡帳を通しての連絡、学級・学校・保健だより、緊急情報メール発信、ホームページ等により、積極的に情報を発信したりして更なる充実に努める。

**Q10 健康・安全教育を積極的に取り組んでいる(健康教育)**



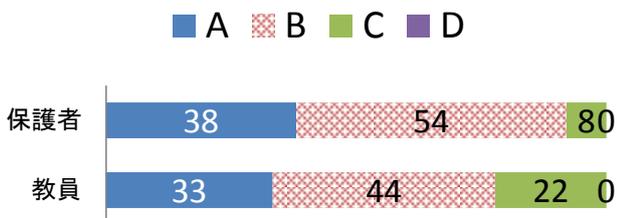
・保護者A+B=94%を達成している。今後も学校保健委員会や安全指導の見直し、110番の家との連携、健康教育の取組を積極的に紹介したり、地域や保護者との連携を大切にしたりしていくことで更なる充実に努める。  
 ・職員A+B=100%を達成している。現在取り組んでいる歯みがき指導や食育指導の他、児童の自己危険回避能力が向上することを視点とした健康・安全教育のあり方について検討し、ねらいを明確にしより実践的な取組とする。学校保健委員会の参加者は100%であった。今後も保護者の関心のあるテーマを設定する等の手立てを講じる。

**Q11 教育活動を積極的に公開している(地域連携)**



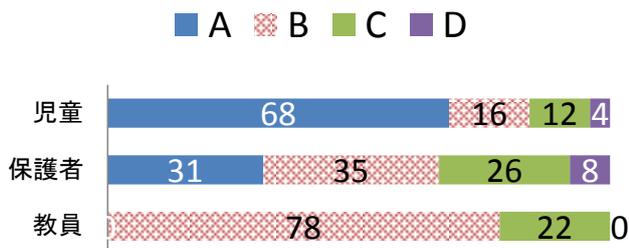
・保護者A+B=93%を達成している。今後、学校行事・学級の取組の公開の仕方について検討し更なる充実に努めたい。  
 ・職員A+B=88%である。今後、中西フェスティバルを多くの地域の方に参加を促すことで、これまでの公開範囲を更に広げていくことで充実に努めたい。

**Q12 地域の環境や人材が教育活動に生かされている(地域連携)**



・保護者A+B=92%を達成している。更なる充実に努めるために110番の家や中西フェスティバル等で地域の人材を生かした教育活動の取組について学校・学級だよりや学級懇談、ホームページ等で積極的に紹介していく。  
 ・職員A+B=77%である。今後は、地域団体や学校支援ボランティア会を積極的に活用していくことで学習の充実に努める。

### Q13 宿題の他に予習や復習をしている(学力向上)

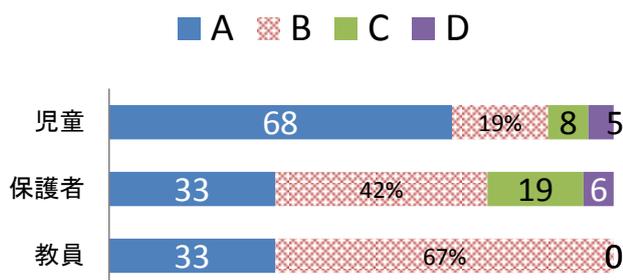


・児童A+B=84%とであり、C+D=16%である。このことから、今後は、自主学習の仕方を教えたり、模範となるやり方を掲示することで、自主学習への習慣づけを図る。

・保護者A+B=66%で、C+D=34%である。このことから、今後は、児童に自主学習を重点化することにより、保護者の協力を頂く必要があるため、学級懇談で話題にしたり、自主学習の取組状況を「家庭学習のしおり」や週報、学級だより等で知らせる。また、自主学習への保護者の関わりについてお願いしていく。

・職員A+B=78%である。保護者との意識の差は大きい。このことから、今後は、自主学習のノート展を廊下で開催したり、自主学習カード等を活用したりすることで、意欲喚起を図る。また、上の学年が下の学年に家庭学習の仕方を教える場を設けるなどして更なる向上を図る。

### Q14 あいさつはよくできている(豊かな心)

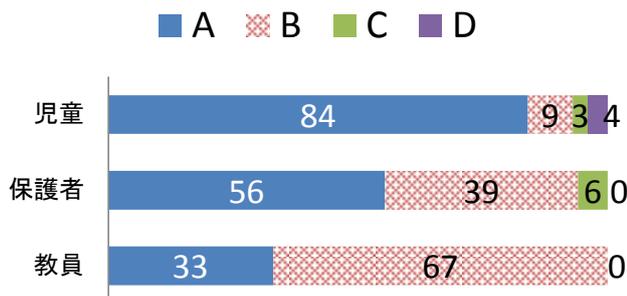


・児童A+B=87%を達成している。今後も、各委員会や学級での活動等で児童主体のあいさつができるように働きかける。また、保護者や地域の方々や児童相互にあいさつが自然にできるように働きかけていく。

・保護者A+B=75%となっている。家庭でのあいさつの推進など保護者や地域の方々と一体となって取り組むことができるように各種たよりや地域連携会議、ホームページ等を活用して協力をお願いする。

・職員A+B=100%を達成している。教室内・学級担任にだけでなく学校外でもあいさつができるように、「あいさつの大切さ・意味」を教える。

### Q15 笑顔で楽しい学校生活を過ごしている(豊かな心)



・児童A+B=93%を達成している。C+Dの7%の児童がAもしくはBになるよう、今後さらに、学び合いを通し、学習の充実感を味わえる授業を実践していく。また、C+Dの児童に対して、実態の把握と分析を行い、原因を把握することで、対応していく。また、望ましい学級づくりのため、学校行事や学級・縦割り班活動など集団活動において一人一人の個性を伸ばし、充実感を味わわせるとともに、集団の一員として所属感を高められるよう、また、人間関係づくりが円滑にできるよう、支援していく。

・保護者A+B=95%を達成している。今後も一人一人のよさが認められ楽しく活動する場を積極的に紹介(ブログ・学級だより・学校だより等)していくことで向上を図りたい。

・職員A+B=100%を達成している。今後も児童・保護者との積極的コミュニケーション、相談活動・道徳教育の充実、自己存在感のある学級づくり、わかる授業を展開し悩みゼロをめざして楽しい学級・学校づくりを推進する。

#### 【○保護者からの意見 ◆学校の対応】

○児童の人数が少ないのに清掃の時間が少ないのが気になる。

◆衛生面について心配であるため、日頃から学校用務員さんが教室やトイレを掃除して対応しているところである。

○児童の人数が少ないのに、学期末事務処理は3日間も必要か。

◆市から児童の下校後2時間後には退勤するように指導されているが、達成できていない。学期末はさらに残業が増えることから、他校は5日間の期間を設定しているところもあるが、本校の児童数を鑑みて3日間としている。

○下校時刻を分かりやすくしてほしい。

◆下校時刻を学年だよりに記載し、緊急の場合はメールを配信することで、分かりやすくなるように対応する。

○トイレが汚れていて何回か行くのを我慢したという話を聞いた。衛生上とても心配です。改善していただきたいです。

◆児童に各学年でトイレの使い方の指導するとともに、トイレの使い方に関する掲示物の掲示や日直等の見回りを強化することで、対応する。

○授業参観の後に当アンケートを取るのはどうか。

◆保護者に学校の様子を知っていただくため、2学期は保護者面談の後に保護者アンケートを実施する。